

大学名	熊本大学		
University	Kumamoto University		
学部/研究科	エイズ学研究センター/大学院医学教育部		
Faculty/Department	Center for AIDS Research/Graduate School of Medical Sciences		
研究指導者	岡田 誠治	職名	教授
Research Advisor	Seiji Okada	Position	Professor
帰国留学生	パッタラバディー シークン		
Former International Student	Pattaravadee Srikoon		
派遣期間	2018年 7月 16日 ~ 2018年 7月 23日 (8日間)		
Period of Stay	8days (July. 16,2018 - July. 23,2018)		

<帰国留学生プロフィール/Profile>

国籍	タイ王国
Nationality	Thailand
所属機関	ブラパー大学・講師
Affiliation	Burapha University/Lecturer
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究分野	腫瘍学・薬学
Major Field	Pharmaceutical Sciences, Tumor biology



パッタラバディー シークンさん、居室にて/Dr. Pattaravadee Srikoon in her room.

<研究指導者からの報告/Research Advisor Report>

①研究指導概要 / Outline of Research Guidance
<p>帰国留学生(Dr. Pattaravadee Srikoon)の勤務するブラパー大学を訪問した。薬学部の視察、薬学部長及びスタッフと今後の研究・学生交流についての打合せ等を行った。薬学部が新研究棟に移動したばかりで、特に細胞培養室・マウス飼育室が稼働していないことから、今後の運用に関する助言を行った。また、抗腫瘍薬開発におけるマウスモデルの重要性と最新の患者由来腫瘍移植モデルに関する講義を行った。帰国留学生は、帰国外国人留学生短期研究制度により本年12月に当研究室に滞在する予定なので、当教室滞在中の研究に関する打合せを行った。マヒドン大学医学部シリラ病院では、免疫学教室・薬理学教室・遺伝学教室のスタッフと研究打合せ等を行った。帰国留学生とともにマヒドン大学を訪問したことで、帰国留学生が今後免疫学教室の施設を使用して研究できるようになったのは大きな成果である。</p>
②研究指導の成果 / Results of Research Guidance
<p>帰国留学生(Dr. Pattaravadee Srikoon)の勤務するブラパー大学訪問により、ブラパー大学薬学部の現状を把握し、細胞培養や研究に必要なマウス飼育に関する助言を行った。また、抗腫瘍薬開発におけるマウスモデルの重要性についての講義を行った。薬学部長との協議により、今後のブラパー大学と熊本大学の学生・研究交流に関する同意が得られ、ブラパー大学薬学部学生を熊本大学で受け入れることとなった。また、マヒドン大学医学部シリラ病院免疫学教室・薬理学教室・遺伝学教室のスタッフと研究打合せを行い、帰国留学生がマヒドン大学で研究可能となったのは大きな成果である。帰国外国人留学生短期研究制度により当教室に滞在する際の研究打合せを行い、十分な準備の上で研究を行うことが可能となった。その他、タイの研究者と共同研究打合せを行い、学生受け入れ及び共同研究に関するグラントの紹介と具体的な受け入れについての協議を行った。</p>
③訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.
<p>滞在中に下記の学術交流及び意見交換等を行った。 ①ブラパー大学薬学部においてセミナーを行った。(タイトル: Application of Patient-derived xenograft (PDX) for drug development -Toward Precision Medicine-)。 ②Mayuree Tantisira薬学部長、Nuttinee Teerakulkittipong副部長: 今後の学生・研究交流についての情報交換と学生・学術交流に使えるJASSOやJSPS等のグラントの紹介を行った。薬学部の新研究棟を見学した。細胞培養とマウス飼育室が稼働していないため、今後継続的に指導を行うこととした。 ③Rungnapha Saeeng准教授(ブラパー大学理学部、名古屋大学に留学し理学博士取得): 研究打合せと熊本大学の研究紹介を行った。博士課程学生を1名、来年度当教室に留学させることで合意した。 ④Chanitra Thuwajit准教授(マヒドン大学医学部シリラ病院免疫学教室): Kulthida Vaeteewoottacharn助教(コンケン大学医学部生化学教室助教)も参加して研究打合せを行った。帰国留学生がブラパー大学で細胞培養室が稼働してなく、研究に支障をきたしていることを説明し、共同研究として免疫学教室で実験を行うことで合意した。 ⑤Siwanon Jirawatnotai博士(マヒドン大学医学部シリラ病院薬理学教室): これまでの研究成果について討論を行った。 ⑥Pa-thai Yenchitsomanus教授、Thawornchai Limjindaporn准教授(マヒドン大学医学部シリラ病院遺伝学教室): デング熱及びがんの免疫療法についての討論を行った。来年度、共同研究のためMutita Junking博士が当教室に留学する事で合意した。大学院生・博士研究員に、熊本大学についての紹介を行った。 ⑦Itnarin Mongkon氏(コンケン大学動物実験施設): JSPS RONPAKU programを希望しているため、インタビューを行い、併せて熊本大学の紹介や奨学金制度の紹介などを行った。 ⑧Kamonnaree Chotinantaku講師(メーファルアン大学医学部講師): 共同研究打合せと、研究試料の授受を行った。 ⑨JSPS/バンコクオフィス訪問: 熊本大学の国際交流に対する試みを紹介。特に今年度から開始された熊本大学医学教育部とマヒドン大学・コンケン大学・チェンマイ大学医学部とのダブルディグリープログラムを紹介し、ご協力をお願いした。</p>

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

Prof. Seiji Okada's seminar about the application of PDX for drug development let us know the novel trend of animal study. His advice for animal study and laboratory systems were very helpful. We agreed for future collaboration as well as students and researcher exchange. We started the novel collaboration with Mahidol University with his supervision.

②今後の計画 / Further Research Plan

Our faculty is going to be a leader of Center of Excellent for Drug Discovery of Burapha University. To establish animal house and other laboratory systems, it is good for us to have Prof. Okada as a consultant. I am planning the further collaboration with Prof. Okada and visit Prof. Okada's lab in this year. We are also planning to exchange students and researchers.

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

This is very supportive system which give continue opportunity on research collaboration to researcher in both familiar and new collaborations. To work with with ex-supervisor makes us more confidence and trustful while to work with new collaboration is good for research to grow up. Moreover, this is very useful for my affiliation and other staffs.



ブラパー大学薬学部スタッフと/with staffs of Faculty of Pharmaceutical Sciences, Burapha University



Rungnapha Saeeng 准教授と博士課程学生(理学部にて)/A.Prof. Rungnapha Saeeng and her Ph.D. students (Faculty of Science, Burapha University).



ブラパー大学薬学部セミナーにて/Seminar at Faculty of Pharmaceutical Sciences, Burapha University



シリラ病院免疫学教室にて, Kulthida Vaeteewottacharn助教(コンケン大学)、Chanitra Thuwajit准教授、Pattaravadee Srikoon博士(下列左から)/Dr. Kulthida Vaeteewottacharn (Khon Kaen Univ.), A. Prof. Chanitra Thuwajit, Dr. Pattaravadee Srikoon



マヒドン大学シリラ病院スタッフと/with staffs of Siriraj hospital, Mahidol University



セミナーのポスター/Poster of the seminar